

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 別福会	代表者	北地輝昭	法人・事業所の特徴	別府市の南端にあり、海・山も近く自然豊かな環境下、ご利用者に寄り添いながら自立支援と地域連携を進めながら「楽しい時」を過ごしていただく努力をしています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 両郡橋事業所	管理者	相部静男		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	1人	1人	人	4人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員間のコミュニケーションを密に図り、情報の共有と更なるスキルアップを計画的に行う。	毎朝のミーティングでの情報の共有は行えた。また、月末ミーティングでも情報の共有が行えた。	ミーティングや研修会が積極的に行われ、入所者の情報共有がよく出来ていると感じた。	職員間のコミュニケーションを密に図り、情報の共有と更なるスキルアップを計画的に行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所内外の環境整備を行い、誰でも立ち寄りやすい事業所を目指す。	毎朝の清掃、お花の管理を職員が積極的に行えた。感染症の為、来客者等に制限を行った為、立ち寄りやすい事業所とは言えなかった。	立ち入りに制限があった為、入りづらい。	事業所内外の環境整備を行い、また、感染対策をおこない誰でも立ち寄りやすい事業所を目指す
C. 事業所と地域のかかわり	行事等積極的に参加し、地域との絆を深めていく。	感染症の為、行事等に参加することは出来なかった。	感染症対策として行事等行えなかった。	行事等積極的に参加し、地域との絆を深めていく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の相談等に民生委員児童委員等と協力して対応に取り組む。	感染症の為、事業所への相談等はなかった。	他地域からの利用者については会議等ほとんどわからない。	地域の相談等に民生委員児童委員等と協力して対応に取り組む。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の取組みが推進会議を通して地域に理解していただける様に情報を発信していく。	対象者がおらず事例検討は行えていない。また、感染症の為、何度か開催中止があった。	事業所の取組みについては会議での報告で、ある程度理解できている。	事業所の取組みが推進会議を通して地域に理解していただける様に情報を発信していく。
F. 事業所の防災・災害対策	地域との避難訓練等積極的に行うと共に、職員個人の意識を高める。	事業所内での避難訓練は行えたが、地域での訓練は行えなかった。	地域と共同での防災訓練実施、AED 設置を市や地域に報告できた。	地域との避難訓練等積極的に行うと共に、職員個人の意識を高める。